



豊中市・沖縄市 兄弟都市提携 50周年記念事業 オンライン シンポジウム



沖縄市から贈られたシーサー像（豊中市役所）

沖縄と豊中から考える戦争体験の継承

昭和47年（1972年）に沖縄が本土に復帰し、昭和49年（1974年）にコザ市と美里村が合併して「沖縄市」が誕生しました。同年11月3日、沖縄市誕生市民祭典の場で、「兄弟都市宣言」が調印されました。

令和6年（2024年）は豊中市・沖縄市が兄弟都市提携を結び、50周年を迎えます。その節目となる本年は、豊中市と沖縄県内で戦争体験の継承に従事してきた方々をお招きし、両市の戦中・戦後の様子や、戦争体験を継承する取り組みなどを紹介。今後どのように伝えていけるのかについて、パネリストならびにシンポジウム参加者で考えます。

開催日時

令和6年（2024年）

6月14日（金）18:00～20:00

（17:50からZoom開室予定）

↓ 申込はこちら



開催方法

Zoom開催（事前申込制）

参加費

無料

定員

100名（先着順）

5月13日（月）から
豊中市電子申込
システムで受付

【主催】 豊中市

【協力】 沖縄市
大阪大学大学院人文学研究科 現代日本学研究室

登壇者 プロフィール

ファシリテーター

北村 毅（きたむら・つよし）さん 大阪大学大学院人文学研究科 教授

1973年生まれ。早稲田大学高等研究所准教授などを経て、現在、大阪大学大学院人文学研究科教授。博士（人間科学）。専門は文化人類学、民俗学、沖縄研究。

主著書として『死者たちの戦後誌：沖縄戦跡をめぐる人びとの記憶』（御茶の水書房、2009年）、論文として『「沖縄の精神衛生実態調査」にみる戦争と軍事占領の痕跡』『シリーズ戦争と社会5：変容する記憶と追悼』（蘭信三他編、岩波書店、2022年）など。

パネリスト

古堅 宗光（ふるげん・そうこう）さん (一般社団法人) 沖縄青年会議所副理事長などを歴任

1947年、与那国島生まれ。小学校5年生まで通っていた旧石川市・宮森小学校のジェット機墜落事故で同級生4人を亡くす。1970年に「コザ暴動」に遭遇。その後「コザ暴動を記録する会」を立ち上げ、多くの証言者の聞き取り活動を行う。

旧コザ市時代、豊中市との交流を報じた広報紙の記事をきっかけに、豊中市との交流に尽力。

仲田 晃子（なかだ・あきこ）さん ひめゆり平和祈念資料館学芸課係長

1976年、那覇市生まれ。琉球大学で「ひめゆり」が戦後どのように語られてきたかをテーマに学んだのち、2005年、ひめゆり平和祈念資料館に最初の説明員として採用される。

ひめゆり学徒隊の生存者たちと共に働くなかで、ひめゆりの沖縄戦体験と、戦争体験を伝える活動を学んできた。学校団体への平和講話などを行うほか、企画展やイベントの企画・運営などを担当。2021年には同資料館のリニューアル展示の制作に携わった。

磯崎 主佳（いそざき・ちか）さん 絵本作家、白梅学徒隊継承団体「若梅会」で継承活動

1971年、神奈川県生まれ。1996年、東京藝術大学大学院修了後、東京で美術の教員として勤務。2002年に沖縄県玉城村（現、南城市）に移住し、創作活動に入る。

また、白梅学徒隊同窓会の中山きくの呼びかけにより始まったボランティアグループ「若梅会」にも参加しており、白梅学徒隊に関する挿絵作品としては、『白梅学徒隊 きくさんの物語』（2013年、沖縄県退職教職員会女性部）がある。

田中 逸郎（たなか・いつろう）さん (特定非営利活動法人) NPO政策研究所理事・研究員

大阪府豊中市において、広報広聴・企画・文化・国際交流・都市デザインなどの公共政策を担当。2007年4月に政策企画部長。2010年7月から2018年6月まで豊中市副市長。

著書に『NPOと行政の協働の手引き』（共著、大阪ボランティア協会）、『地域自治のしくみと実践』（共著、学芸出版社）、『外国人と共生する地域づくり』（共著、明石書店）など。

〈事業に関する問合せ先〉人権平和センター豊中

〒561-0884 大阪府豊中市岡町北3-13-7

TEL:06-6841-1313 FAX:06-6841-1310 メール: toyojinken@city.toyonaka.osaka.jp